

四世九蔵奉納の説明碑

團十郎團蔵ノ銅像ハ本
テ先考七世團蔵ノ建設
保七年江戸ニ生レ幼少
後團蔵ヲ襲名シ明治四
シテ没ス其生涯ニ於ケ
ト信ジ成田山ノ靈域ニ
其宿志ヲ果シ得タルハ
来十数年風霜ニ因リ當
和二年修理ヲ為シ茲ニ
テ其冥福ヲ祈ル

邦俳優銅像ノ嘯矢ニシ
ニ係ル 抑々先考ハ天
七世團十郎ノ門ニ加リ
十四年九月七十六歳ニ
ル名聲ハ師父ノ賜ナリ
之ヲ永遠記念セシトシ
實ニ没主ノ春ナリキ爾
初ノ趣ニ損シタレバ昭
亦先考ノ碑ヲ建立シ以
昭和七年九月 (1932年)

四世市川九蔵

四代目市川九蔵 は、後に八代目市川團蔵となる。

先考=亡父

天保7年1836年

宿志=かねてから抱いていた志

【抑抑】よくよく=つつしむさま。ひかえ目にするさま

嘯矢(こうし) =最初

私がかメラで撮影して文字を起こしたので間違えがあるかも知れません。
しかし大筋意味は理解できると思います。

團十郎團蔵ノ銅像ハ本
邦俳優銅像ノ嘯矢ニシ
テ先考七世團蔵ノ建設
ニ係ル×抑々先考ハ天
保七年江戸ニ生レ幼少
七世團十郎ノ門ニ加リ
後團蔵ヲ襲名シ明治四
十四年九月七十六歳ニ
シテ没ス其生涯ニ於ケ
ル名聲ハ師父ノ賜ナリ
ト信ジ成田山ノ靈域ニ
之ヲ永遠記念セシトシ
其宿志ヲ果シ得タルハ
實ニ没主ノ春ナリキ爾
来十数年風霜ニ因リ當
初ノ趣ニ損シタレバ昭
和二年修理ヲ為シ茲ニ
亦先考ノ碑ヲ建立シ以
テ其冥福ヲ祈ル
昭和七年九月
四世市川九蔵

1910年（明治43年） 日本初の俳優の銅像建立

七代目團藏(1836年-1911年)が奉納した。(七代目市川團十郎と六代目市川團藏の銅像)
金属類回収令（1941～1945）（昭和16～20年）により供出された為（大東亜戦争）

1932年（昭和7年9月） 説明文と名優七世市川團藏の碑を建立

四代目市川九藏（1882年-1966年）（八代目市川團藏）が奉納した。

「名優七世市川團藏の碑」「坪内遊人題」 坪内逍遙の揮毫（きごう）

この碑は東日本大震災により倒れて折れたが現在修復された。つなぎ目あり

1941年（昭和16年） 銅像は金属類回収令により供出された。

1943年（昭和18年） 七代目團藏追善碑(歌碑建立)

八代目市川團藏（1882年-1966年）が石造りの歌碑を建立した。

高浜虚子の句碑 **【凄かりし 月の團藏 七代目】**

金属類回収令により銅像がなくなった為、直ぐに（2年後）石造りの歌碑を建立した。

- **七代目 市川團十郎**
 - 五代目の孫で六代目の養子、1791-1859。
 - 初代市川新之助 → (五代目) 市川ゑび蔵 → 七代目市川團十郎 → 五代目市川海老蔵 → 成田屋七左衛門（塾居謹慎時） → 幡谷重蔵（旅回り） → 二代目市川白猿
- **六代目 市川團藏**
 - 七代目市川團十郎の門人から、五代目未亡人の養子、1800年-1871年。実父は四代目の門弟・初代市川荒五郎。
 - 市川昭世 → 市川三蔵 → 初代市川茂々太郎 → 初代市川白蔵 → 二代目市川九蔵 → 六代目市川團藏
- **七代目 市川團藏（銅像建立）1910年（明治43年）**
 - 六代目の養子（天保7年）1836年-1911年。実父は料理人丸屋伊三郎。
 - 初代市川銀蔵 → 二代目市川茂々太郎 → 二代目市川白蔵 → 三代目市川九蔵 → 七代目市川團藏
- **八代目 市川團藏**
 - 七代目の次男、1882年-1966年。引退直後に入水自殺。
 - 二代目市川銀蔵 → 三代目市川茂々太郎 → 四代目市川九蔵 → 八代目市川團藏

